

食物アレルギーに対応した学校給食を求める陳情書 趣旨採択に

開会中の羽村市議会6月定例議会は6月17日、経済委員会と総務委員会が開かれ、6月12日の本会議で各委員会に付託された市民からの陳情を審査しました。

午後1時30分から開かれた総務委員会では4件の陳情が審査され、「『広報はむらの規定制定』に関する陳情」「『審議委員選挙の規定』制定に関する陳情」「『裁判への出張』に関する陳情」の3件は不採択となりました。

食物アレルギー対応・羽村は遅れている！

「食物アレルギーに対応した学校給食を求める陳情書」は

陳情者の2人の子に食物アレルギーがあり、2人が通う保育園ではこのことを理解してくれて、アレルギーに対応した給食を提供してくれている。しかし羽村の小中学校では全国的にも東京都の中でも対応がかなり遅れている。昨年4月には文部科学省より「学校給食管理指導表(アレルギー疾患用)」とそのガイドラインが出ており、はっきりと『食物アレルギー対応推進のために、学校の設置者であり、かつ学校給食の実施主体でもある教育委員会が各学校の状況を的確に把握し、主体的に対応することが望まれる。その上で体制を確立し、人的及び物理的環境の整備を図ることが大切であり、各学校は教育委員会が整えた環境の中で、最良の対応が実現できるよう努力することが望まれる』と明記されている。羽村市に対して、文部科学省からのガイドラインに沿って食物アレルギーに対応した給食を一刻も早く対応できるよう、働きかけていただきたい。というものです。

中原まさゆき委員は「採択」を主張

中原まさゆき委員は「学校給食は羽村瑞穂学校給食組合で実施しているが、羽村市の学校教育に責任を持つ教育委員会が食物アレルギーに対応した給食を実施しようという方針を持つことが大事であり、この陳情書は採択すべきと主張しました。

採決の結果、採択は2人、趣旨採択が3人で、趣旨採択となりました。

「趣旨採択」はすこしゆるい決定ではありますが、食物アレルギー対応の給食実現に向けて、貴重な一歩をふみだしたものと言えるのではないのでしょうか。



2009年6月21日 941
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ
<http://www.jcphamura.org>
事務所 電話579-2132 FAX579-2106

無料法律相談のお知らせ

7月14日(火) 午前10時から
場所は「日本共産党羽村市委員会」事務所です。
弁護士が相談にあたります。要予約。

中原まさゆき 電話 554-1163
市川 えい子 電話 554-1140
鈴木 たくや 携帯電話 080-1058-9450



陳情 「『羽村駅西口地区の整備計画』を市民に説明するよう求めます」は不採択に

市川えい子委員は「採択」を主張

午前10時から開かれた経済委員会で上記陳情1件が審査されました。採決の結果「採択」は2名、「不採択」は3名で、不採択となりました。

都議会議員選挙7月3日告示、12日投票

日本共産党西多摩青梅地区委員会は6月15日記者会見を行い、来る都議会議員選挙で、西多摩選挙区に数野はじめさん、青梅選挙区に工藤けいいちさんを擁立すると発表しました。



数野はじめ

略 歴

1947年青梅市生まれ、東芝府中工場勤務、都立昭和高校普通科(定)中退、現在、党地区副委員長、党西多摩都政対策委員長、福生市加美平在住、



工藤けいいち

略 歴

1949年北海道生まれ。青梅市立二中、都立多摩工業高校卒、武陽ガス勤務、現在、党西多摩青梅地区常任委員、党青梅都政対策委員長、青梅市二俣尾在住